

むらやま 議会だより



写真／戸沢保育園クリスマス会にて

もくじ

- ◎新春対談…………… P 2～3
- ◎新議会体制…………… P 4
- ◎11月臨時会・12月定例会…………… P 5
- ◎代表質問・一般質問…………… P 6～11
- ◎議会活動レポート…………… P 12～13
- ◎市民の声…………… P 14



←携帯からはコチラ



2020 新春対談

村山産業高校

尾崎真央さん(3年) 星川 晃さん(3年)
 武田 蓮さん(3年) 高橋陽香さん(3年)
 阿部武宣さん(3年) 森 優介さん(3年)
 滝口智稀さん(2年)



左から高橋陽香さん、尾崎真央さん、滝口智稀さん、議長、阿部武宣さん、星川晃さん、森優介さん、武田蓮さん

あけましておめでと
 うございます
 議長公室において議
 会だより編集委員と
 もに村山産業高校の生
 徒と大山議長による新
 春対談を行いました。
 緊張の中にも若々し
 い意見が出されました。
 本日はありがとう
 ございます。高校生の
 率直な意見をお聞かせ
 下さい。

村産の特徴、誇れると ころは？

(阿部) 農商工の学科
 が併設していることは
 珍しく、酒米を作った
 りドローンの競技会が
 あったり、新しいこと
 に挑戦できる学校です。
(滝口) 村農、東根工
 業の2つを活かして新
 しいものを作っていき
 たいです。
(議長) 3年間で学ん
 だことを継承し、後輩

たちに村産が存在する
 意義を教えていって下
 さい。そして、学んで
 きた農商工の情報を密
 にした組織の総合力を
 生かし、これから羽ば
 たく皆さんが「村産を
 卒業したんだ」と堂々
 と胸を張って言えるよ
 うにしていきたいと思
 います。

就職や進学を希望した 動機、期待、将来像 は？

(星川) 私の就職先は
 「食」で山形県を支え
 る企業で、レトルト食
 品やゼリーをお年寄り
 や子どもが安心して食
 べられるのを見て、自
 分も「食」で山形県を
 支えていきたい。
(尾崎) 市内の企業に
 工場見学に行った際、
 社員はやりがいがあり
 そうで、技能五輪とい
 う技術を競う大会に機
 械が採用されるなど、
 とても魅力を感じ技術
 の発展に貢献したいで
 す。
(森) 村産の様々な機
 械を使って、また機械



工作という座学などで
 学んできて、製鉄に関
 する仕事をしてみたい
 と思います。
(高橋) 専門学校のエ
 アライン科、グランド
 スタッフコースに進学
 します。
(武田) 悲惨な交通事
 故を無くし、飲酒運転
 やスピード違反など、
 未然に防ぐことで、事
 故で悲しむ人が出ない

ように警察官になって
 頑張りたいです。
(議長) 皆さんそれぞ
 れに進む道は違いますが、
 が、初心を忘れず、失
 敗を恐れない気持ちで
 何事にも取り組んでい
 たいと思います。
 日本には「継続は力な
 り」ということわざが
 あります。意欲的で粘
 り強い人になってほし
 いと思います。

村山市に希望すること

は？

(阿部) 若者向けの飲食店、洋服店が少ないです。雪が多いので除雪対策に力を入れてほしいです。

(議長) 大型店舗の進出で、地元の商店は、その影響を受けていると言えます。何とか乗り越えようとしています。ですが、なかなかうまく



第26代 大山正弘議長

いかなのが現状ですね。雪対策は、安心して暮らしていくためにも大切なことと捉えています。

(武田) 村山市も高校生まで医療費無料化にしてほしい。

(議長) 大変耳の痛い話です。ここで返事は出せませんが、議会としても反映できるように努めていきます。

(高橋) コンビニや

スーパーはありますが、店が少ないと思います。女性が行きやすい、集まりやすいような場所があるとうれしいです。

(議長) なるほど。昔は町の中に喫茶店が結構あったんですよ。

今、地方創生の流れの中で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を立ててまちづくりに取り組んでいます。どこまで出来るかは未知数ですが、頑張っていきます。

(森) 隣の市では、さくらんぼ、スイカなどブランド品があります。村山市はこれといったものがないかと思っています。

(議長) ブランドこそ無くとも味は負けていないと自負しています。村山は土壌、気候が良く、夏は暑く冬は寒い環境がより一層美味しい作物を作っています。一度食べたならやめられないというのが村山市のさくらんぼです。皆さんと継承し、PRし

たいです。

(滝口) 僕は東根市に住んでいます。東根市は農業と工業がしっかりと

りしてはいますが、村山市にもその両立が必要ではないかと思っています。

(議長) 全くその通り。素晴らしいまちづくりの一環として市長と一緒に取組んでいきます。

村山市の良いところ、伸ばして行くべきところは？

(阿部) 生徒会長として文化祭を開催したときに、地域の皆さんが温かく村産と市民が密着していると感じました。

(武田) 平和で安全なところと、ブルガリア新体操のホストタウンとして、国際交流に力を入れているところです。

(星川) 地元の方からも愛されている最上川の舟下りが村山市の良いところだと思います。**(議長)** 普通科と比べると、地域の方々と会

話する機会が多く、またその体制が出来ているんだと思います。

市と町内会長、区長がうまく連携して、治安は他の自治体にも負けないと自負しております。

そして、ホストタウンとして今年4回目の合宿を迎え、金メダルへの後押しをしたいと思います。

また、村山市には四季を通じて見事な景観がたくさんあります。大いに宣伝、発信していきますので期待してください。

将来の明るい社会に向けて、村産卒の誇りを持って堂々と羽ばたいてください。

貴重なご意見、ありがとうございます。



新議会体制が決まりました



議会の構成

議長		副議長		
大山 正弘		石澤 祐一		
	総務文教 常任委員会	産業厚生 常任委員会	議会運営 委員会	議会だより 編集委員会
委員長	高橋菜穂子	矢萩 浩次	秋葉 新一	石澤 祐一
副委員長	細矢 清隆	犬飼 司	矢萩 浩次	犬飼 司
委員	石澤 祐一	大山 正弘	海老名幸司	高橋菜穂子
	海老名幸司	秋葉 新一	結城 正	阿部 正任
	中里 芳之	菊池 貞好	高橋 菜穂子	高橋 卯任
	結城 正	田中 正信	犬飼 司	吉田 創
	阿部 正任	高橋 卯任		小山 大地
	吉田 創	小山 大地		

一部事務組合議会議員

■ 共立衛生処理組合

議 運 委 犬飼 司
 監査委員 石澤 祐一
 議 員 高橋 卯任

■ 北村山公立病院組合

副 議 長 大山 正弘
 議 運 委 海老名幸司
 議 員 菊池 貞好
 議 員 矢萩 浩次

■ 北村山広域行政事務組合

議 長 秋葉 新一
 議 運 委 高橋菜穂子
 議 員 阿部 正任

■ 広域斎場組合

議 員 中里 芳之
 議 員 吉田 創
 議 員 小山 大地

11月臨時議会 議決結果報告

11月1日から5日の会期で、改選後、初の臨時議会が開催されました。

大山正弘議長、石澤祐一副議長が選出され、議会運営委員、各常任委員、各一部事務組合議会議員を選出し、新議会体制が決まりました。

また、一般会計補正予算は、歳入歳出4829万円を追加し、総額130億2942万円で可決しました。道の駅に関わるものや台風19号による被害の対応に関わるものであります。

功労者表彰として3名を議決、監査委員選任、任期満了による新教育委員会委員が任命されました。

功労者表彰

- 森 一弘 (大久保) 3444万円
- 中里 芳之 (戸沢) 100万円
- 早坂 悦男 (楯岡) 100万円

人事案件

- 監査委員 100万円
- 寺崎 智広 (戸沢) 287万円
- 教育委員会委員 30万円
- 高谷 理香 (大久保) 51万円

主な補正項目

- 住宅リフォーム支援事業 41万円
- 業 500万円
- 環境衛生対策事業 97万円

- 中学校管理運営費 30万円
- 中学校義務教育教材費 51万円
- スポーツ施設管理運営事業 41万円

12月定例会 議決結果報告

11月29日から12月13日の会期で12月定例会が開催され、一般会計及び特別会計補正予算6件、条例5件が原案のとおり可決されました。その結果、一般会計歳入歳出それぞれ1億4,352万4千円を追加し、総額131億7,294万5千円となりました。

条例等

- 村山市公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例
- 地方公営企業法の規定を適用するものです。(全会一致で可決)
- 村山市表彰条例等の一部を改正する条例
- 成年被後見人の権利制限に係る措置の適正化等を図るものです。(全会一致で可決)

- 山形市水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者の更新手数料等を改正するものです。(全会一致で可決)

- 山形市及び村山市における連携中核都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協約
- 山形市との連携中核都市圏の形成に係る連携協約締結について協議するものです。(賛成多数で可決)

- 字の区域及び名称の変更について
- 大字楯岡字洪田の一部を楯岡新町五丁目に変更するものです。(全会一致で可決)
- 村山市特別職に属する者の給与等に関する条例

条例の一部を改正する条例

市長等及び議員の期末手当の支給割合を改正するものです。

- 村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 山形県人事委員会の勧告等を踏まえ、勤勉手当及び給料表等を改定するものです。(全会一致で可決)

主な補正項目

- 基点地区下水道整備事業 2千710万円
- ふるさとづくり応援寄附金推進事業 3千397万円
- 子育て応援定住促進対策事業 600万円
- 常備消防活動費 130万円
- 教育指導費 148万円
- 幼稚園子育て支援事業 413万円
- 最上川美術館管理運営費 101万円

各会計補正額

(単位：千円)

会計	補正額	補正後の額
一般会計	143,524	13,172,945
特別会計		
国民健康保険事業	1,751	2,684,668
公共下水道事業	38,536	1,066,570
介護保険事業	516	3,037,201
水道事業会計 (収益的収入及び支出)		
事業収益(収入)	△8,500	644,686
事業費用(支出)	751	639,990

代表質問

市政・公明クラブ代表 秋葉 新一 議員



◎第5次村山市総合計画について

Q 前期基本計画における事業の検証と後期基本計画における最重要施策は何か。

A 子育て支援・教育の充実そして住宅地造成など重点的に行い、各分野とも進展が図られたと考えている。今後も重点課題として取り組み、人口減少への対策として、若者支援の援助については、斬新な思い切った支援を検討している。人口減少に歯止めをかけるため市民の声を聴きながら、まちづくり目標に基づく施策を積極的に進めていく。

◎行財政改革について

Q 既存事業の効果検証による見直しと新たな財源確保は。

A 全ての事業で市民の視点で必要性・事業効果等を評価し、見直しを行う。公共施設においては、長寿化計画に取り組み、類似施設の統一・休止・廃止を検討する。新たな財源として、市の施策やイベントに共

感できる人に対してのクラドファンディング型のふるさと納税の推進や市の施設に対するネーミングライツなどの導入を検討する。

◎郷土愛の醸成について

Q 村山市歴史文化基本構想をどのように教育に結びつけるのか。

A 歴史・文化を後世にきちんと伝えていくためには、後継者育成は、非常に重要な課題である。学校教育で教えることも大切であり、「地域学習」や「放課後子ども教室」などで実施している。地域の方々が子どもたちと一緒に活動が広



道の駅むらやま

がっていくことを期待する。地域や故郷への愛着は、地域に永く住み、地域の持つすばらしさを実感し、誇りとしてきた人を通してこそ、子どもたちに受け継がれていく。こうした人が、たくさんいらしやるのが確認できたこともこの事業の成果の一つだと思う。

◎定住促進について

Q 東北中央自動車道関連で、駅西エリアの整備、開発は。

A 市道駅西中央線いわゆるバラ回廊ロードは、令和2年度の供用を目指し、整備中だ。その後、中央帯の施設整備を行う。道の駅については、新構想を出したが、インターチェンジ開通後、車の流れを見て判断する。

Q 関係人口とは、主に都市圏に住みながら特定の地域に対して短期滞在やボランティア、特産品購入など、さまざまな形で継続的に関わる人々を指します。村山市へのふるさと納税者の方々、車の合宿免許でこ

られる首都圏の学生さん



最上川美術館からの景色

◎子育て支援策について

Q 高校三年生、18才までの医療費無料化の市長の英断をのぞむ。

A 前向きに考えたい。

◎健康寿命延伸策

Q クアハウス基点「健康増進事業」「みんな

でハッピー」レージ事業」に新たに「むらやま健康ポイント事業」が始まったが、今後の展開は。事業をだき合わせにするなど仕組みづくりを検討する。

Q 最上川を核とした観光戦略を。

A 三難所を活かした舟下り、クアハウス基点、そば街道があるが、さらに三難所エリアのブラッシュアップ（磨き上げ）をしていく。



田中 正信

お互いに支えあい、助けあう社会を

答弁 地域における「共生社会」を目指す

Q 深刻な高齢社会にあつて、市民の生活に直結する福祉政策を問う。

A 「地域における共生社会」を目指していく。それは、お互いに支えあい、助けあつて生きる社会である。

Q 村山市が他市に誇る福祉施策は何か。また、その誇れる施策を、さらに伸ばすにはどうするか。

A 「ふれあい・いきいきサロン」など地域に根ざした活動を大切にしながら、共に生き・支えあうまちづくりを進めていく。

Q 町内会およびまちづくり協議会に対し、市の目配り・支援を願いたい。

A 自治組織であり、自主性こそ大事である。それを踏まえた

上で対応したい。

Q 市民の福祉に対する意識高揚を目的に「福祉の日」を制定してはどうか。福祉の日には、標語・ポスターの募集、講演会などを行つてはどうか。

A 勉強させていただく。

Q 羽州街道楯岡宿を活かしての、まちづくり。また、村山市のブランドを全国に発信するための、提言を募集してはどうか。

A 勉強させていただく。



「村山市長杯羽州街道楯岡宿」股旅舞踊全国大会
(村山市民会館大ホールにて)



正 結城

会計年度任用職員の勤務条件の改善を図れ

答弁 段階的に改善していきたい

ようになる。

Q 平成29年7月に農業委員が、公選制から任命制により選ばれるようになり3年間の任期が経過しようとしている。任命制による成果はどうだったのか。

A 法改正に伴い農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して、「農地利用の最適化の推進」に取り組む一定の成果を上げている。

A 改善する方向で考へているが、財政の関係もありすぐにはできない。段階的に改善していきたい。

Q 会計年度任用職員制度の仕組み、任用方法、労働条件などについてどのようなものか。

A 臨時・非常勤職員として補助的な業務を担当して働いてもらつていた方を、会計年度任用職員として採用し、期末手当や特別休暇などが新設される



集積と集約化にむけ、ほ場整備が進む名取中田地区



司 犬飼

ため池にテレメータ水位計などの設置を望む

答弁 設置は現実的でない

Q 近年の自然災害は想定外の事態を引き起こしている。ため池ハザードマップでは、ため池の決壊による水害が想定されている。

あるか。

A 狭隘な道路については順次やっている。ただし、土地の買収が高額となりできない場合もある。

Q 緊急車両でない自家用軽トラックを使用しているのか。

A 消防団員の協力により団員所有の車を使っている。また、法令順守により運行するよう指導に努めている。

Q 緊急車両でない自家用軽トラックを使用しているのか。

A 出ていく。設置には国の補助金もあるが、維持費の補助金はない。設置は現実的ではない。

Q 災害ごみの減額、免除を考えていた

A すべてに対応しな

Q 緊急車両の通行困難な狭隘道路は、市民生活にも影響があると思うが改善計画は

A 適切かどうか今後、勉強していく。

Q 緊急車両の通行困難な狭隘道路は、市民生活にも影響があると思うが改善計画は



田畑を潤す大倉ため池



創 吉田

有害鳥獣対策にさらなる支援を

答弁 増額して対応していく

Q 若者の人口減少は市民の暮らしに与える影響が大きいと考えられる。本市の若者(二十代・三十代)の転出・転入はどうなっているのか。

A イノシシの被害が多く捕獲数も多くなっている。被害額は減っているが、数字として出てこない。

Q 有害鳥獣対策の今後の対応を伺う。助成金を増額して対応していく。若

A 問題はあると思うが、おもしろい。総合的に取り組んでいきたい。

Q 若者が定住するまちづくりについて今後どのような取り組みをしていくか。

A 子育て支援をさらに増やしていく。

Q 若者の意見を聞く機会が少なかった

A 若者の力を発揮できるように

Q 有害鳥獣被害の現状はどうなっているのか。

A 若者の力を発揮できるように

Q 有害鳥獣被害の現状はどうなっているのか。



地元猟友会が檻を設置している様子



菊池 貞好

公共施設での受動喫煙防止対策はどのように

答弁 屋内禁煙、屋外喫煙を指導している



細矢 清隆

老朽化が進むスポーツ施設に早急に対策を

答弁 武道館は耐震診断結果まち

Q 楯岡高校跡地の利用について伺う。

A フィットネス施設を整備するための「むらやま健康ポイント事業」が始まって、市民を対象に活動量計を活用した実証実験を行っている。また中心市街地再生に向け、に

ぎわい創出と経済効果を生む新たな拠点として今後利活用の希望者や健康づくり事業に参加する団体、商店街の方々としっかり話し合いを進めていきたい。

Q 現在、商品開発を進めている「温泉ミスト」について伺う。

A 「温泉ミスト」に関しては半年前から商品化に向けて、開発研究を進めている。今後新商品をどのようにPRして販売していくのかを検討している段階である。

Q 公共施設での受動喫煙防止対策について伺う。

A 市内小中学校では禁煙しており、教職員だけでなく保護者の皆様にも協力して頂いている。「クアハウス

基点」「道の駅」「甑葉プラザ」では分煙対策で、屋内禁煙、屋外喫煙を指導している。また、市外の利用者にはマナーにそった受動喫煙防止対策をとっていただいている。



公共施設の喫煙所

Q やまがた百名山である大久保北山の北山桜公園（仮称）の整備について伺う。

A 9月27日に要望書が出され真摯に取り組んでいきたい。第1期に、児童原っぱエリアについて進めたいと考える。

Q スポーツ推進審議会が開催されなかった理由は、

A 重要事項のみ審議会でも議論すると理解していたが、今後審議会を開催し令和元年度の開催は担当者と相談しながら進めていく。

Q スポーツ施設の老朽化対策を早急に進めるべきでないか、楯岡中の屋外運動場のトラック、フィールド整備及び表示器について伺う。

A トラックについては地震により歪み



子どもたちの新体操教室でスポーツ施設の活性化

Q 有害鳥獣被害が増加しているが抜本的な対策を伺う。

A 地域の災害と考える必要、里山の除草、広域的な捕獲が有効と考える。今後、河内地域のパトロール活動を実施していきたいと考える。



小山 大地

利用者ファーストのホームページを

答弁 様々な意見を聞いて取り組みたい

Q ホームページは、利用者に対する配慮を欠いてはならない。よってリニューアル事業は利用者ファーストを大前提として、従来の画面レイアウトおよびコンテンツの配置などを当たり前と思わずに取り組んで頂きたい。市長の見解は。

A ホームページに関してここまで詳しい人は今までいなかった。今後は、相互にアドバースをしながら、様々な意見を聞いて取り組みたい。

Q 安定した供給や数量確保という課題があるため、この場で回答することは難しい。今後は農林課などの関係課も交えながら、最適な方法を検討していく。

Q 子育てに関するニーズ調査でも、「今後力を入れるべき」と評価が最も高いのが「医療費無料」。党市議団のアンケートでも、「高校卒業までの医療費無料化」が1位で、「義務教育費の保護者負担の軽減」が2位となっている。高校卒業までの医療費無料は県内の半分以上の自治体で行われている。本市でも実施を。

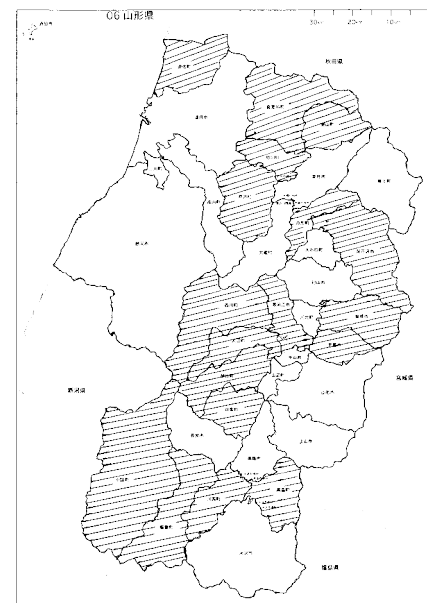
Q 子育て支援について「斬新なものを検討中」とのことだがそれは何か。

Q 党市議団のアンケートに、除雪についての要望が多数寄せられた。除雪困難者への除雪支援の強化を。通常の冬期間も除雪困難者を支援する除雪サポーター制を、福祉サービスとして今年から実施できるように検討している。

Q 村山市はふるさと納税額の実績が、近年5億円前後で推移している。隣の河北町は近年納税額が常に10億円を超えており、現状を打開する必要があると考える。そこで、雇用確保ならびに関係人口の増加を論議し、



村山市公式ホームページ



高校卒業まで医療費無料実施自治体（斜線）注）東根市は2019年10月～
参考資料）山形県保険医協会 県内市町村の子ども医療費助成事業（2019年7月1日現在）



中里 芳之

「除雪困難者」の除雪支援強化を

答弁 今冬は試験的に実施、来年度から本格実施

Q 子育て支援について「斬新なものを検討中」とのことだがそれは何か。

A それを実施したら、確実に出生率は上がるのか。



矢萩 浩次

若者が魅力あると思えるまちづくりを

答弁 人口減少が最重要課題である

Q 人口減少対策として、若者が魅力のあるまちと思えることが大切ではないか。その重点政策は産業振興・社会保障・安心安全なまちづくりである

A 考える。第5次総合計画の見直しにあたり「次の世代へ引き継ぐ魅力ある村山市を創る」ための最重要課題をどう捉えているか、後期計画に盛り込むべき施策を伺う。

Q バランスをとり細部を詰め、実際何が効果があるかを見極め、本市が維持発展出来る施策とする。

A 「大好きむらやま」の心を育む教育を充実させる策は。小さいころから村山への思いや将来の希望・夢を自ら書くことにより、ふるさとへの愛着をもち大人になっても

住み続けてもらえるのではない。

A 体験・感性・コミュニケーションのトライアングルをまわす。小学校低学年に、本市の持つ自然・文化・人材を体験し表現させ互いに交流すること、地域にとど

まらずに直接体験を広げることが大事である。

Q 本年も台風など自然災害が猛威をふるった。災害調査や防災のほか多分野で活用が期待されるドローンを含めたICTプロジェクトの推進を提案する。



台風19号の大雨により増水した浮沼地区赤助川



高橋 菜穂子

ふるさと納税は業務委託を活用すべき

答弁 市内の事業者と連携したい

Q 河西地域の定住対策として、旧葉山中学校の市有地を分譲することを考えてはどうか。

A 市の土地であれば改めて購入の必要がなく、平地であるので造成費もかからない。考えてみたい。

Q ふるさと納税の業務委託の状況はどうか。

A 業務委託は、主に募集業務、発送業務、システム使用料、プロデュース委託の4種類である。

Q 今後ふるさと納税を伸ばしていくならば体制の強化が必須である。業務委託を行うことで、職員にはふるさと納税の本質的な部分あるいは政策立案などの時間を確保していただきたいと思うがどうか。

A 職員は人事異動にによって担当が変わるので、継続性がなく、職員の人件費の負担が大きい。市内のインターネット販売に強い業者に委託をする方向で考えていきたい。

Q 保育施設について今後再編に取り組むというところだが、その方針について伺う。

A 河西地域について、ちぐさ認定こども園は老朽化、富本認定こども園は人数の減少が見られるため、戸沢保育園と統合することを検討している。



広々とした戸沢保育園

議会活動レポート

よりよい行政のための 視察活動レポート



緊急時給水拠点

自然の恵みの水
旧幕井貯水池取水口の水神様にて市民に安全安心でおいしい水の安定供給を祈願しました。

東新町にある下水道開通記念碑前で下水道祭を行いました。

下水道は昭和62年から村山公共下水道として使用されています。

その後、緊急時給水拠点整備事業の一ヶ所楯岡高区排水池（シールトライン歩道）を視察しました。

総務文教常任委員会
水道祭・下水道祭
11月20日

○ほ場整備事業
ほ場整備とは水田や畑を利用しやすいように整形したり大きな区画にすることで、農業



進捗状況の説明を受ける

○東北中央自動車道
河島地区に建設中の村山市IC（仮称）は、超軟弱地盤であり、*1「真空圧密工法」などの軟弱地盤対策を行いながら、完成に向けて実際に工事が進んでいるとの説明を受けました。

また、浮沼跨道橋では橋への荷重軽減のために軽量コンクリートによる*2「軽量盛土工法」を採用し安心・安全な道路を最優先に工事が進んでいます。

産業厚生常任委員会
管内視察
12月10日



屋内に移る産直コーナー

○道の駅むらやま改修工事
道の駅むらやまでは、今年度中の完成を目標に産直コーナーとトイレの改修工事を行っています。エントランスホールから内部へと産直コーナーが移動し、来客者が気持ちよく買い物をするのができるようになるため、より収益の増加が見込まれます。

生産性の向上および安定を目的とした事業です。現在中田地区では、けいはん除去による区画整備を実施しており、県のモデル事業として大きく注目されています。事業費の約80%は国・県の負担となっています。

*1 真空圧密工法…真空圧を利用して軟弱地盤中の水分を排出し、地盤の圧密沈下や強度増加を図る工法
*2 軽量盛土工法…土砂の十分の一から百分の一程度の軽量の盛土材を利用し、土圧の軽減を図る工法

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議員名	議決結果	市政・公明クラブ							改革クラブ				無党派		賛成	反対		
		吉田 創	細矢 清隆	田中 正信	矢萩 浩次	高橋菜穂子	秋葉 新一	海老名幸司	石澤 祐一	大山 正弘	高橋 卯任	阿部 正任	犬飼 司	結城 正			菊池 貞好	小山 大地
議長提案議案 第88号 山形市及び村山市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	14	1

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☐=可決 ☐=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長

議会活動

10月

- 4日 市老人クラブ連合会第46回体育レクリエーション大会
- 6日 東京村山会総会
- 8日 国道347号改良促進に係る県・北村山地域振興局要望
- 20日 市・市長杯ゲートボール大会
- 29日 全員協議会
代表世話人会

11月

- 1日 全員協議会
本会議
ふるさと産業フェア厚岸町・台東区・塩竈市歓迎セレモニー
- 2日 楯岡地域放課後児童クラブ施設オープニング式
ふるさと産業フェア
- 5日 代表世話人会
全員協議会
本会議
- 7日 共立衛生処理組合議会新議員研修
- 11日 東北中央自動車道山形河川国道事務所要望
議会報研修会
- 12日 共立衛生処理組合議会運営委員会
山形県市議会議長会定期総会
- 13日 初当選議員への業務説明（～15日）
- 14日 都市計画道路村山駅東沢線景要望
- 15日 議会運営委員会協議会
- 16日 むらやま教育の集い
- 17日 大わらじの里 村山市観光物産展
- 19日 全員協議会
- 20日 全国市議会議長会基地協議会東北部会総会
水道祭・下水道祭
- 21日 共立衛生処理組合議会定例会
- 25日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
県知事及び県議会議長への実行運動
- 28日 北方領土返還要求山形県大会
- 29日 全員協議会
本会議

12月

- 2日 民生委員・児童委員感謝状贈呈式及び委嘱辞令交付式
北村山広域行政事務組合議会議員研修会
- 3日 代表質問
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 産業厚生常任委員会・協議会、管内視察
- 12日 常任委員長会
議会運営委員会
- 13日 全員協議会
本会議
村山市活性化推進議員連盟総会
- 16日 議会だより編集委員会
- 17日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
北村山公立病院組合議会運営委員会
- 19日 市老人クラブ連合会との意見交換会
- 20日 議会だより編集委員会
- 23日 市老人クラブ連合会合同研修会懇親会
北村山広域行政事務組合議会臨時会
- 24日 北村山公立病院組合議会定例会
- 25日 議会だより編集委員会
- 27日 議会だより編集委員会

共立衛生処理組合議会 11月21日

11月21日、令和元年度補正予算、市町負担金など4議案を可決し、補正では、し尿収集費などで入札差金が生じ、2559万円を減額し、総額23億6775万円としました。市町負担金は8億4008万円となり、村山市負担金が1億3748万円となりました。
監査委員に石澤祐一氏を選任し、副議長に

遠藤敬知氏（天童市）を選出しました。



燃えるごみの^{かくはん}攪拌作業

議場への国旗掲揚

平成27年12月議会で「村山市議会議場に国旗掲揚を求める請願」を採択し、協議を重ねました。
令和元年9月25日 市民の代表として、各地域まちづくり協議会会長より意見聴取を行った。
令和元年9月30日 議会運営委員会協議会で市旗と並べて議場への国旗掲揚につ

いて決定した。
令和元年10月2日 全員協議会にて報告した。
令和元年12月定例会議場正面に、国旗と市旗を並べて掲揚した。



議会への傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継（ライブ中継・録画中継、外部リンク）より



←携帯からはコチラ





市民の声

～自家焙煎の新鮮な 珈琲をお届け～



伊藤直人さん
(戸沢)

村山市稲下で自家焙煎珈琲&カフェ「green wood coffee」を営んでおります伊藤です。東京や神奈川で生活しながら美味しい珈琲とは何かを探求し続けた結果、自家焙煎にたどり着きました。独学14年で開店しました。

この村山市に来て3年目になります。

珈琲を求めて県内外から多くのお客様に来ていただきとても嬉しく思うと共に、美味しい珈琲を探求し続け、ご満足していただけるよう精進して参ろうと、より一層身の引き締まる思いです。

珈琲は豆の産地・焙煎・淹れ方によってまったく違う味わいになります。上手下手よりも、自分好みの珈琲を楽しんでいただけたらと思います。いつ、誰と、どこで、どのように珈琲を飲みたいですか？十人十色で様々な楽しい珈琲の、ほっとできる「相談所」のようなあたたかいお店を目指していきます。

是非、自分の珈琲を探しにいらしてくださいませ。お待ちしております。



店内風景



こだわりの珈琲



温かい笑顔でドリップ

〈表紙写真〉

12月14日、戸沢保育園においてクリスマス会が開催され、年少組以上の園児が劇・合唱など日頃の練習の成果を披露しました。

◎戸沢保育園 園長：井上信也 ☎ (56-3445)

地域の多様なニーズに応えるため、0歳児保育や一時保育を実施しており、家庭で育児中の方が活用できる子育て支援センターを併設しています。

【園児数】… 計110名

3歳未満児50名 年少組25名 年中組17名 年長組18名

子育て支援センターぐんぐん：☎ (56-2002)



演劇アラジン



- | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 |
| 小山 | 吉田 | 高橋 | 阿部 | 高橋 | 石澤 |
| 大地 | 創 | 卯任 | 正任 | 菜穂子 | 祐一 |
| | | | | 司 | |

今回は新体制で作成
するはじめての議会だ
よりとなります。親し
みやすく読みやすい議
会だよりを心がけてい
きますので、今後とも
よろしく願います。
(小山)

